

本店図書室における情報検索システムの導入

企画室 企画グループ

本店図書室では、情報化時代に対応して、情報の効率的・効果的利用を目指し、在庫圖書の検索を中心とした「図書システム」と種々の外部データサービスを利用できる専用パソコンを導入した。いずれも、社員に広く公開しており、図書室では多くの利用を期待している。さらに今後、図書室は、全社の情報センタ的な機能の強化を目指しており、社員の様々なニーズに応えていきたいと考えている。

1 図書室の概要

現在、図書室は本店ビルの4階にあり、約2万8千冊の図書と約550種類の雑誌を蔵庫し、4人の女性がこの運営に当たっている。今年、図書室では、情報化時代に対応して、図書検索を中心とした「図書システム」と種々の外部データサービスを利用できるシステムを導入した。

2 図書システムの概要

NECと図書室で共同開発したシステムで、当社の図書室業務を支援するとともに、全国でもまだ例の少ないオフコンによる情報検索機能を導入するなど、当社独自のシステムづくりを指向した。

図書の検索は、図書ごとに書名、著者名および図書内容を表すキーワードなどをコンピュータに登録することにより、利用者の様々なニーズに応じた図書の問い合わせを可能とした。

さらに、この検索は、図書の貸出とともに、利用者自身が操作できるよう配慮し、従来の図書室



第1図 図書室の検索装置

業務の省力化を図った。

3 外部データサービス利用の概要

図書室では、図書、雑誌の貸出サービスのほか外部データサービス利用システムを設置し、社員にサービスしている。なお、検索できるデータサービスは次のとおりである。

(1) NEEDS-IR

日本経済新聞、日経ビジネスなどの記事検索、国際金融情報の検索

(2) ACE

中日新聞の記事検索

(3) JOIS

科学技術文献、経済など一般雑誌の内容検索
日刊工業新聞の記事検索

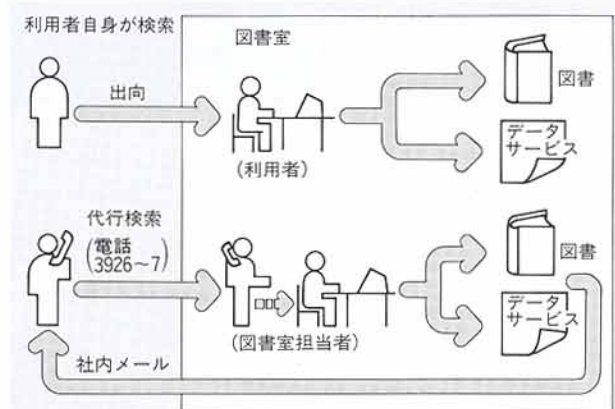
(4) JAPAN-MARC

国立国会図書館の蔵書検索

4 検索システムの利用方法

これらの検索システムは社員に公開している。利用方法は次のとおりである。

- (1) 利用者自身が検索…ビル内、ビル出向の場合
- (2) 代行検索………ビル外から電話などで依頼



第2図 検索システムの利用方法

5 今後の図書室のあり方

今後、図書室は、社内の情報センタ的な機能の強化を図り、社内の情報収集、検索などの様々なニーズに応えていきたいと考えており、社員の皆さまに協力をお願いしたい。